

外国語学部ポルトガル語専攻2年生対象 オリエンテーション資料

ポルトガル語専攻2年次以降のカリキュラム

2年次

- 目標： (1) 中級文法、講読、会話の授業をとおして、ポルトガル語力を向上させる。
(2) ポルトガル語圏の言語、文学、文化について幅広い知識を習得する。

授業： (1) 実習科目 11~15 【必修科目】(通年科目)

ポルトガル語 11 (A・B 合同)	坂東 照啓
ポルトガル語 12 (A・B 合同)	鳥居 玲奈
ポルトガル語 13 A・B	東 明彦
ポルトガル語 14 A・B	Karina Saldanha
ポルトガル語 15 A・B	Rogério Dezem

(2) 講義科目 【選択科目】(半期科目)

ポルトガル語圏語学概論 a, b	坂東 照啓
ポルトガル語圏文学概論 a	平田 恵津子
ポルトガル語圏文学概論 b	上田 寿美
ポルトガル語圏文化概論 a, b	河合 沙織
ポルトガル語圏文化講義 II a, b	東 明彦

3・4年次

- 目標： (1) 高度なポルトガル語力を身につける。
(2) 2年次末に決定した卒業論文の分野に関連する授業を中心に選択履修し、専門分野の研究書や論文を原文で読み、その内容を深く理解するとともに、自ら、研究・調査し、論理的に文章を組み立てて発表する力を身につける。
(3) 卒業論文の作成に取り組む。

ポルトガル語専攻が提供するすべての科目に関する履修上の注意事項

1. 成績評価については、各授業の担当教員がそれぞれ定める。
2. 授業には毎回出席すること。
3. 出席回数が所定の回数に満たない場合には、試験の成績にかかわらず、当該授業の単位は修得できない。
4. ポルトガル語実習科目 (5科目 10単位) の修得が進級の必須条件となる。

卒業論文(卒論)に関連する重要事項

1. 卒業論文(8単位)は必修科目で、日本語とポルトガル語での作成が求められる。
2. 卒業論文の分野・指導教員は、2年次末までに決定する。分野については、ポルトガル語圏「言語」、「文学」、「歴史」、「言語教育」等から選ぶ。

3. 卒業論文の分野・指導教員を決定するにあたっては、学生の希望を優先するが、ひとりの教員が指導可能な人数の上限を超えた場合、**選抜**を行なう。選抜方法は、各教員に委ねられるが、個別面接や1・2年次のポルトガル語実習科目の成績が重要な判断材料となり得る。
4. 現時点の指導体制は下記のとおりである。

分野と指導教員：

言語	坂東 照啓
	鳥居 玲奈
文学	平田 恵津子
教育	Karina Saldanha
歴史	Rogério Dezem

アカデミック・アドバイザー（2年生）：Karina Saldanha

- ・ アカデミック・アドバイザーとはいわゆる「担任」のことです。大学生活における学業や進路等に関する悩み・相談事が生じた場合は、アカデミック・アドバイザーに相談し、アドバイスを受けてください。
- ・ 授業内容に関する質問は、当該授業科目の担当教員に直接行ってください。
- ・ 相談内容に応じて、学生支援ステーションや外国語学部なんでも相談室、保健センター学生相談室等を利用してください。

ポルトガル語学科目代表：坂東 照啓

- ・ 休学届、退学届等の書類を提出する際、学科目代表の署名・捺印が必要となります。事前にメール等で予約を取った上で、研究室へ書類を持参してください。

休学について

- ・ 海外渡航を理由として休学する場合、出発前と帰国後、必ずアカデミック・アドバイザーに連絡をしてください。

ポルトガル語専攻教員メールアドレス・研究室・オフィスアワー

平田 恵津子	B 棟 5 階 (B512)	水曜日 3 限
坂東 照啓	B 棟 5 階 (B516)	火曜日 4 限
鳥居 玲奈	B 棟 5 階 (B508)	月曜日 1 限
Karina Saldanha	B 棟 5 階 (B509)	火曜日 5 限
Rogério Dezem	B 棟 5 階 (B507)	月曜日 3 限